

## 第 25 回資格更新講習会 開催報告

今期 2 回目の資格更新講習会は会員有資格者 56 名、招待者 2 名様に参加で開催しました。今回の第 26 回資格更新講座は平成 31 年 3 月 9 日（土）に開催します。また本講習の要旨と補足について、遠隔地の通信教育受講者には講習資料の御送付、大阪開催の研修ゼミは平成 31 年 4 月 6 日（土）に開催、東京開催の研修ゼミは 3 月 23 日（土）事務局が伝達・補講を行います。



1. 開催日、会場 講習日：平成 30 年 11 月 10 日（土）／講習会場：全経会館 3 F

### 2. 講習会次第

#### (1) 講演Ⅰ：最近の IPO の傾向及び上場準備作業の留意点

講師：有限責任 あずさ監査法人 パートナー 神宮厚彦 様

＜要旨＞最近の IPO 市場の動向と分析をいただき、上場準備作業の留意点について、監査法人の視点から、最近の傾向・事例（試験問題要点）を踏まえて解説をいただきました。

＜講師御経歴＞：1995 年朝日監査法人（現有限責任 あずさ監査法人）入所以来、国内上場会社等の会計監査に多数従事すると共に、上場準備会社の内部管理体制の整備及び会計制度の構築支援等のアドバイザー業務を通して、株式上場支援に従事。日本ベンチャー学会理事。

弊会の「上級 IPO・内部統制実務士試験委員会の代表委員」でも御参画いただいています。

＜専門分野/代表著作等＞「これですべてがわかる内部統制の実務（中央経済社）」「Q&A 株式上場の実務ガイド（中央経済社）」「新興企業の内部統制実務（中央経済社）」ほか。



#### (2) 講演Ⅱ：「改訂コーポレートガバナンス・コードと実務対応」

講師：（一社）実践コーポレートガバナンス研究会 理事 公認会計士 箱田順哉 様

＜要旨＞2018 年 6 月に発行された「改訂コーポレートガバナンス・コード」と「投資家と企業の対話ガイドライン」によって、監査役・監査等委員・監査委員と内部監査人はより一層連携することが求められるようになりました。本講では、コーポレートガバナンス改革の最新動向を確認して、監査役、内部監査人や会社役職者の立場から、外部監査人を含めた「三様監査の連携」について解説をいただきました。

＜講師御経歴＞1974 年、東京外国語大学英米語学科卒業、三菱レイヨン株式会社（現・三菱ケミカル株式会社）入社、企画管理業務に従事。1980 年、プライスウォーターハウス入所、監査・

コンサルティング業務に従事。1997年、プライスウォーターハウス経営監査グループ結成。2010-2013年、COSO 内部統制フレームワーク改訂プロジェクトに参加。2012年、プライスウォーターハウスクーパース パートナー/あらた監査法人代表社員を定年退任。



現在は公認会計士として社外取締役・社外監査役・企業顧問等に従事。慶應義塾大学大学院、日本公認会計士協会等で教育活動にも従事。

＜代表著作等＞：『これですべてがわかる内部統制の実務』（共著 中央経済社）、『COSO 内部統制 - 統合的フレームワーク』（共同監訳 日本公認会計士協会）、『社外取締役・監査役の実務』（共著 同文館出版）、『企業グループの内部監査』（単著 同文館出版）、『持株会社の実務』（共著 東洋経済新報社）、『全社的リスクマネジメントフレームワーク篇・適用技法篇』（共訳 東洋経済新報社）、『会計専門家からのメッセージ：大震災からの復興と発展へ向けて』（共著 同文館出版）等。

### (3) 講演Ⅲ：『「企業文化」の監査プログラム』

**講師：有限責任監査法人トーマツ 包括代表補佐 稲垣浩二 様**

＜要旨＞多くの不正会計発生の根本原因の1つに企業文化があげられる。より良い企業文化が不正抑止環境をつくるという視点から、企業文化を評価する際の留意点と、企業文化を改善するための具体的施策および監査の視点を明確に解説いただきました。

＜講師御経歴＞：1985年中央大学商学部会計学科卒業。1984年デロイト・ハスキング・アンド・セルズ東京事務所入所（合併後、現有限責任監査法人トーマツ）。1996年米国デロイト・アンド・トウシュのニューヨーク事務所に赴任。2000年日本に帰任後、2013年執行役員（グローバル監査推進担当）に就任。2015年に執行役退任後ボードメンバーに就任、2018年監査法人トーマツ包括代表補佐に就任。公認会計士、公認不正検査士、公認内部監査人。

＜代表著作＞：『「企業文化」の監査プログラム（同文館出版）』、「不正会計防止プログラム（税務研究会出版局）」。



### (4) 事例報告&対談：中小企業等スタートアップ企業に係わる経営支援

**講師：株式会社CRI 中央総研 会長・組織開発コンサルタント 三谷徹男 様**

＜要旨＞日頃の中小企業支援の実例や経営教育活動から、事業の成功に必須な「目的」「組織の構成」「人材育成」「収益管理」「目指すゴール」等について、御報告いただきました。

＜講師御経歴＞：1970年日本大学経済部卒業、日本経営者団体連盟（現日本経団連）の地方組織で、賃金・労務管理に関する調査、企業内教育訓練に関する企画開発などの事業を担当。1988年、中央カレッジグループ（株）群馬中央総合研究所（現CRI 中央総研）の設立に参画、現在代表取締役会長。コンサルタントファーム・社会人教育（国家資格試験指導、外国語教育指導）事業を統括、システム論と問題解決技法とを統合したマネジメント手法による、知識創造型組織づくりを標榜してコンサルタント活動を行っている。中央カレッジグループ理事、経営品質協議会セルフアセッサー、群馬経済得同友会経営問題委員会副委員長、群馬ニュービジネス



ス協議会専務理事を兼務されています。  
＜代表著作等＞：「竹輪の頭はどっち！？プラス思考の道具たち（1997年・監修）」、「新地場産業に挑む（高崎経済大学経済学部共著）」、「新地場産業と産業環境の現在（高崎経済大学附属産業研究所共著）」、「ISO審査革命！知力審査のすすめ！（2011年・監修）」ほか

#### （5）事務局報告、会員&有資格者 交流会

毎回、講習4コマのほかにも、事務局より「事業報告・試験委員会報告」を行っています。今回は、御講演の講師御執筆書籍の御紹介のほか、①. 上級IPO実務士公式テキスト＜改訂4版＞年内刊行準備の完了報告、②. IPO・内部統制ワークブック刊行のお知らせを配付いたしました。



今後も、法務・内部監査・内部統制等の時事テーマについて情報提供を行っています。



講習会終了後、会員等の有志参加により、交流会・懇親会を開催しています。  
次回、第25回資格更新講座＜平成31年3月9日（土）開催＞で、またお会いしましょう。